

2003年6月号

Enfanter ● No.289

あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む ②(計画などを)考え出す ③(作品などを)創り出す、の意

ちょっとでいいから

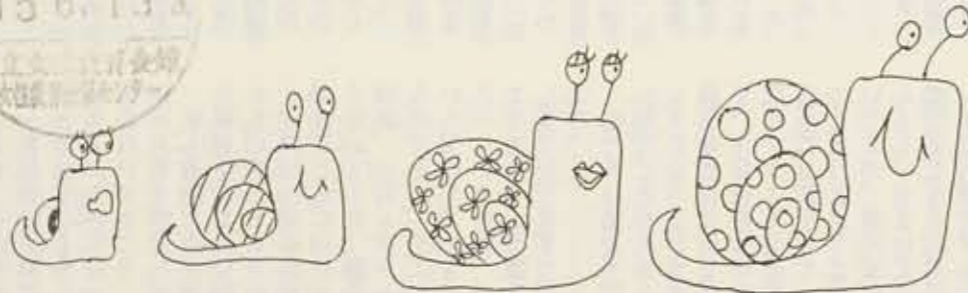
坊やおかずを放り投げてばかり
身体の温帯なかなが治らない
一寸過ぎたのにまだ歩かない
ねえ、これって私のせい？
いつも不安でたまらない
ちょっとでいいから一緒に心配して！

この頃三十分しか眠らない
私がトイレに行く泣く
かぜをひいたらミルクをもどす
ねえ、これって私のせい？
私だっけ？
ちょっとでいいからこの子を見てて！

子どもを預けて働くなんて早すぎる
遊ばせ方がわからないなんてふざけてる
子どもにケガさせるなんていい加減
ねえ、それって私のこと？
これでも一生懸命なのに
ちょっとでいいからわかってよ！

自分の子育てに不安がいっぱい
子連れママに声かけできない
ネット以外に情報源なし
坊やがいなければと思ってしまう
ねえ、それって私のせい？
このままじゃ何もかわらない
ちょっとでいいから動きだそう！

時・川崎
イラスト・川崎



【特集】

北から南から -それぞれの生活 それぞれの子育て- P2

- ・あんふぁんてからあんふぁんてへ P10
- ・あんふぁんてって何? P11
- ・30周年記念イベントスタッフ募集 P11
- ・情報コーナー P12

特集

北から南から

それぞれの生活 それぞれの子育て



あんふぁんては発足以来全国組織として活動し、住んでいる地域は違っても同じ想いを抱く人たちの声や活動を会報を通して伝えあってきましたが、地域でのグループ活動が下火になり、イベントが事務局のある首都圏中心になりがちのため、今回はあえて首都圏から離れた地域の会員の声を中心に、この特集を組むことにしました。

三月に行った「北から南から」のアンケートを中心に、それぞれの会員の生活を知ることから、自分の暮らしを見つめてみたいと思います。また特に、子育てしやすい環境を作っていくために、各地の子育て支援政策や実践例についても報告してもらいました。(まどめ・川崎)

I 「私の近況」

ファミリーサポートセンター作りに燃えています

群馬県 群馬県

今、グッドタイムミングで活動していることは、ファミリーサポートセンターを設立することです。それと、母親クラブ(地域活動連絡協議会)の会長をしています。昨年四月から二年任期なので、来年三月までです。会長というのはどこでも大変だと思っはいますが、こんなに大変とは思いませんでした。一時期は毎日頭痛に悩まされ、自律神経失調症ではないかと思っはほど、精神的に疲れました。今年度はもっと気楽にできる会長にしようと思っはています。

ボランティア活動には特に興味があったわけではありませんが、バネルシアターを自分たちで自作し、発表することで、皆さん楽しんでもらう活動をしています。求職中ですが、やるなら一生続けられる事と思っは、これから保育士資格試験の勉強をして、保育士になりたいと思っはようになりました。一応幼稚園教諭免許はありますが、今それでは職がないのです。

岡山で、議会ウォッチングやっています

岡山県倉敷市

今日、あんふぁんてNo.287(二〇〇三年四月号)が届きました。私はあんふぁんて岡山にも入っはいて回覧ノートなどにも参加し

ています。子どもも小学生になったため、出産・乳幼児の子育てに關しては関心が薄れつつあります。しかし、私がいゝんな活動を始めるきっかけになった「子育て」への思いは忘れないでおこう、忘れちゃいけないと、今回の号外を拝見して思っはいました。私も倉敷で市長選時と市議会議員選時に、立候補予定者に公開質問状を送り、返却されたものをとりまゝとめマスコミ発表やホームページでの公開の活動を行いました。東京でも都知事さんに向けてされたこと、とても心強ク思っはました。議会政治に疑問はあるものの現状、公のシステムをつくっはているのが議会なのだから、そこを外しては考えられないという気はしてあります。子育ても介護もしたくない男に、当事者の立場に立っはた子育てサポート・介護サポートの施策が行えるでしょうか。今までの政治を見れば、一目瞭然です。

私たちは議会や委員会で行われているか知ることが大事と、議会・委員会ウォッチングをやっています。また、市民派の女性議員を増やしたいという意識だけは持っはいます。来年倉敷は市長選がありますが、公開質問状プラスその回答にだけ即した政治を行うことができたか、という評価システムもつくろうと言っはています。まだ具体的ではないですが、政治家は口がうまくて、何でも言えるし、うまいこと書けるので、どれだけ態度で示してくれるのか、示してくれただかがポイントは大変です。先は長いですが、一つ一つです。公開アンケートもやってみていろいろなことわかるし、

そういう活動ができたことは自分達の自信につながります。ただの批判にならず、自分達は自分達のできることをきちんとして、行政とのよいパートナーシップ・タグを組むことのできる器を作っはていきたいものです。それぞれの地域でやっはていきたいと思います、お互いに!!

「女性センターづくりワークショップ」

宮城県仙台市

五月末、仙台駅近くのビルの28・29階にエル・ソラー仙台がオープンする。従来のエル・パーク仙台と併せて、二館体制の仙台市男女共同参画推進センターとなる。これに先立ち、昨年三回に渡り、せんだい男女共同参画財団主催の「女性センターづくりワークショップ」が行われた。

私は、第一回「新センターとエル・パーク仙台の機能分担について」、第二回「新センターの施設のレイアウトについて」に参加した。(ちなみに第三回は「エル・パーク仙台の改修について」)

一回目は、市役所で平面図を使って二館の施設の構造を理解し、特徴をつかみ、それぞれの機能を結びつけ関係づけていく作業だった。約三十名が五グループに分かれて作業し、二つの施設のイメージを描き、キャッチフレーズをつけた。

その結果、エル・パークは市民活動の拠点としての動的なイメージ、新センターは研究・企画・相談など静的なイメージが浮かびあがってきた。そこで私たちのグループは、二

館の関係を「想い(新センター)で動く(エル・パーク)」というキャッチフレーズで、とらえた。

二回目は、実際にビルの28・29階のフロアでレイアウトを考えた。前回のワークショップで出された意見を踏まえ、設計者から二つの案が出され、実際に動線を確認しながら、選択し、改善点を加えてグループ毎に発表した。

この二回の具体的なワークショップは、大変有意義だったと思っは。実際に長年活動してきた人たちの体験に基づく声や視点に、気づかされることも多かった。出来てしまった施設をどう使うかではなく、創るところから参画していくことで、市民にもより愛着と責任感が湧いてくる。

窓が多く、まとまりにくい空間を逆手に取り、思っはいたオープン使用で見晴らし最高!仙台にお越しの際は、仙台駅のすぐ近く、アエルビルのエル・ソラー仙台へどうぞお立ち寄り。

グループミーティングやってみたくて

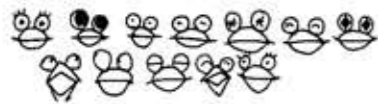
東京都練馬区

二月に、練馬区で行われた「子どもの健やかな成長のために児童虐待について考えてみませんか」へ行っはきました。聞きに行っはう!と思っはたのは、大好きな先生(?)がシンポジストとして参加していたから。虐待について耳をふさぎたくなる話もありましたが、保健所主催で行っはている「グループミーティング」の話がとても良かったので紹介し

ます。

保健師さんの話の中で、乳児健診でアンケートを取ると、母親たちは子どもの成長、人間関係など沢山の悩みを抱えていて、アンケートに「子どもがかわいくない」「子どもを叩いてしまう」その他、アンケート用紙に書ききれないほど書き綴り、保健所としても母親に手助けを...との思いからグループミーティングを始めたそうです。グループミーティングの中で、母親は自分の悩みを話し、他の母親の悩みを聞き、安心したり納得したり...来る時より楽な気持ちになっはるとの話でした。

私も、子育ての中、沢山のストレスを感じ、苦しくなっはしてしまう時もある母親の一人です。他の母親も楽になるグループミーティングをやっはてみたいナーなんて思っはています。



これからの事が不安です

兵庫県神戸市 匿名希望
昨年、よく近しい人が亡くなりました。自殺でした。色々あって二十年以上つきあ...

それから、約九年続けてきた仕事を辞めました。三月初め、母親が少しおかしな状態に...

現状では要介護か、いいところ要介護1だそう。点数低いですよね。生活保護の身には、充分なお金も出せないから、在宅し...

Ⅱ「子どもをめぐる悩みは？」

遊べないことが不安です

岡山県岡山市
泥遊びや草木遊びなど自然の中で遊ぶことが少なく、私も子どもも虫や汚れることが苦...

児童館などを増やして欲しい。雨の日や寒い日の土日、家の中以外出かけるところがなく...

密室の次は人間関係が問題

長野県小諸市

四月から長男が小四、次男が保育園の年長になりました。今が何か始めるにはチャンス...

ただ、「密室育児」期の大変さからはだいぶ前に脱出していますが、反対に子どもを通じた親同士の関わり方にわずらわしさを感じ...

はなくなりません。CDも欲しい、本も読みたい。でも、少し考えるかもしれせんね。...

同居の気苦労を映画ではりしています

岩手県一関市

四世代同居を始めて三年、予想以上のギャップに悩まされながら今日に至る。...

そして、この方もスクリーン久しぶりで、織田裕二さん。「TRY」の織田さんは詐欺師。しかも日本の軍人をベテンにかけハラハ...

子どもはゲームばかり。
島牧村へ来て四年になりました。子どもは今度小学校二年生、幼稚園の年長、年少の男...

子どもはゲームばかり

北海道島牧村

長男については、学校から帰ると友だちの家へ行きゲームばかりやっているようです。...

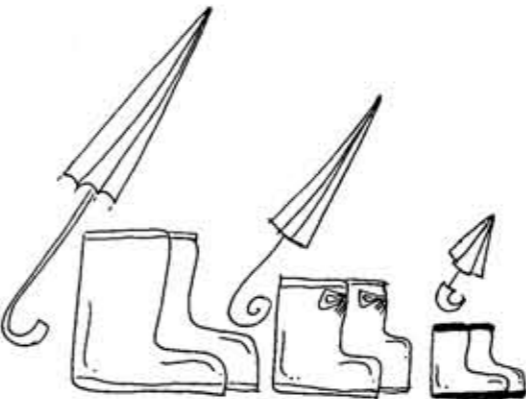
次男はよくある男三兄弟のまん中というところもあり、精神的に不安になることが多い育てについて、考えてみたいところ。

時間が足りない！

山形県尾花沢市

悩みというかグチというか。たぶん時間の使い方が下手なのだと思うのですが、とにかく時間が足りない！ゆとりがなくて、子どもとゆとり過ぎずというより、「遊びにくいぞー」とグーッという勢いで親子三人動いたり、私自身疲れてイライラしてしま...

ラドキドキ、ラストまでどんでん返し続きで面白いですヨ。更に、「ハリポッター1秘蔵の部屋」...



そんな自分にうんざりして落ち込みそうになったりしています。でも、そのことについてしっかり反省する時間もなくて、日々のいろいろな追われ...

子ども達は難しい年令です

兵庫県神戸市 匿名希望

長男はこの春から養護高校に進みます。一番軽度だけど、知的障害児です。幸い明るい性格と、中学時代に先生方のおかげで少し身に付いた積極性で、ガンバってくれと思っています。

長女は春から中三、反抗期真っ最中。ケンカばかりです。まともに口をきかないことも多いし。手を焼いています。次男は今度中学生、我が強くてわがまま所があつて、ちょっとした事でずねて何も怒って泣きわめいたり、物をなげたり。中学生生活、ちゃんとやっていけるのか不安です。



学校やおけいこ、悩みはたくさん

山口県岩国市

小学生の長男の周りを見ると、子どもが学校の宿題をしなくても、嘆くだけで放っている親が多いように感じる。見ていて「大丈夫か?!」と思う。「うちの子勉強キライだから仕方ないわ」って感じて。我が家では長男に最低限の勉強はさせたいのだが、「しない息子」との戦いに疲れるというのに…

しかもイナカゆえに、親の送迎がないと子どもはおけいこはおろか、友だちの家へも遊びに行けないのだ。いつも寝不足でフラフラしている私がキライな運動をするなんて、ホントにイヤだが、子どものノート一冊買うにも車で山を降りないとコンビニさえないので、仕方がない。しかも学校などで子どもが使うモノって、文具店や制服屋へ行かないと売ってなかったりするし…。こんなイナカで子どもにおけいこさせるには、母親が働いている場合にはジジババの助けを借りないとキビシイのに、我が家の場合親は近くにいないし…(いても運転できないからムリだが)。

りつり、時間をつぶすハメになる。息子どもは五才違いで七学年離れているので、生活圏が異なりおけいこもバラバラとなるため、月ノ土の六日間の午後三時から七時の間、私は運転手だ。一回サボろうと思うと、タクシー代往復二〇〇〇円はかかってとても痛い。だが、なんと言っても大変なのは、「とても男の子している」ムスコども、だらしない、片付けしない、モノは壊す、ちらかす二人に、いかに片付けを教え家事を仕込むか!?これがやっぱり最大の難関です。



地方にいたる私が思うこと

長野県小諸市

いつも思うのですが、東京から近い、遠いではなく、都市部か地方(都市)かで、子育てに関するところえ方は本当に異なっていると

思います。例えば、東京と大阪などの地方大都市では、生活環境や子育てに関する考え方は近いと思いますが、東京と長野では考え方にかなり違いがあるのでは?と思うのです。また、親(私自身)が育った環境によっても、考え方や捉え方が異なってくるでしょう。選択肢も情報量も何もかも多い環境をうらやましいと思うこともあるけれど、自分はずっと田舎で育ってきたから、ここで子育てできることが本当に良かったと思っています。

でも、会報全体を見てみると、決して東京中心ではないですよ。一つの問題(テーマ)に対して、地域に関わらず色々な人が意見を寄せていて、よくまあ、これほど色々な考え方があってもんだと思います。自分と近い意見があれば「うん、そうそう」と思うし、「えー、こんな考え方あるの?!」という文章があったりして、おもしろいです。そんな訳で、私自身はあんふぁんてに「情報」というよりも、近所の友人とはできない「本音の生の声」を求めているように思うので、これからもずっと今までのような切り口(?!)のあんふぁんてであって欲しいと思います。

Ⅲ 地域での 子育てサポートは?

尾花沢市の場合



山形県尾花沢市

私が暮らしている尾花沢市では、親子の遊び場を提供してくれたり、四月に子育てガイドブックができました。少しずつ状況が変わってきているようです。同じ山形県でも自然・人口等々大きな違いがあるため、いろいろと子育て支援の内容も違っているようです。

一、「子育てランド」 山形市では、「やまがた育児サークルランド」が山形市の補助金を受けて運営している「子育てランドあへべ」(あへべとは、山形弁でLet's Go!)という子育て支援施設が昨年オープンしました。そこには、「おやこ広場」と「託児ルーム」があります。「おやこ広場」では大型エア遊具があったり、赤ちゃんがゆっくり遊べるコーナー、絵本のコーナー等もあって親子で楽しめます。また、保育ボランティアの方がいつもいてくださって、安全面でもさりげないフォローがあり、またやさしく声がけしてもらったりと

親子でほんわかした気持ちになれます。授乳コーナーは離れた部屋にあるのですが、下の子のおっぱいタイムの時には、「おやこ広場」でその保育担当の方に上の子を見てもらえるため、別室でゆったりとおっぱいをあげられるので、下の子も幸せです!

二、「子育て支援センター」 尾花沢市の子育て支援センターは、昨年度内の保育園のスペースに一カ所できました。昨年は、下の子の妊娠・出産があったため、まだ今年になって一回しか行っていませんが、ここでも保育担当の方がいつもいてくれるので、なんだかホッとする時間を持てます。育児相談・栄養相談・保健相談もあり、その他親子遠足等の楽しいイベントもあるようです。これから少しずつ参加していきたいなと思っています。

三、「保健センター」

尾花沢市では以前から保健婦さんたちが、子どもが三才までの親子を対象にした「ふれあい広場」という月一回の遊び場の提供をしてきていました。昨年から子育て支援センターができたので、保健センターでは年令のちょっと小さい子を育てる親・祖父母を対象に

した遊びの場、保育相談の場を月二回開いてくれています。保健婦さんがみなさん温かく話しやすい方ばかりで、親子そろって大好きな場所です。疲れている時も「もっとゆっくりしてね」と声をかけてもらってホッとしたり…。いつまでもいつまでも、子育て中のママたち(もちろん父も祖父母も)をこれから温かくつつんでいてほしいなあと、いつも思います。この保健婦さん方の存在は、寒くて雪の多い尾花沢市で自慢できることの一つなのではと思っています。

四、「授乳コーナー」

尾花沢市は、外出時におっぱいを飲ませられる場所がないのが、悩みのタネです。保健婦さんにもお話ししたりしているのですが、いろいろな機会に「授乳コーナー希望!」スライでも図書館でも市役所でも、どこでも欲しい!と伝えていこうと思っています。

大阪市の場合

大阪府大阪市 匿名希望

大阪市内には、社会福祉協議会の行っている「子育ていろいろ相談センター」があります。電話相談をしましたが、とてもよかったです。他には、登録制でファミリー・サポートセンター事業があります。ただし、子どもが大きくなり学校の先生との間でもめるなどした場合には、当事者をサポートしてくれるシステム、学校、担任、教育委員会との中立をしてくれるところの必要性を強く感じます。

岩国市の場合

山口県岩国市
山口県岩国市



一、ファミリーサポートセンター
あります。研修会も月一回あります。でも「健常児向き」の施設のため、アレルギーのある我が子にとっては安心して使えない所だった。どうしようもない時に二、三回お世話になり、とっても良い人だった。

二、末就園児対象
「母と子の体操教室（教育委員会主催だったような）」が月一回ある。市の体育館に大学の先生が来て体操をするのだが、どうも雰囲気がお役所的で固いし、何せ歩いて行ける距離ではないのだ。車で二十分の山の奥にある。駐車場もすぐ一杯になってしまう。

三、医療費助成
助成はものすごく手薄！ぜんそくでも「〇日以上入院に限る」など条件が厳しくて、結局一度も受けられず。

四、保健所の指導
三才児健診の結果、食物アレルギーだということ。保健師さんが一度訪ねて来たが、すぐに産休に入られ、そのままになってしまった。ちゃんと引き継ぎしたのだろうか？

三才児健診時には「何を食べてこんな大きくしたんですか？」と驚き感心された。季節の変わり目ごとに病院へ行っていると言

うと、救急車で運ばれた時に現在飲んでる薬がわかるようにと、保健センターのカルテに「医療管理中」というハンコをポンと押されたが、それっきりである。何か困っていることは？とも聞かれず、何のフォローもされなかった。知識がないのであらうと思つた。

五、保育園
正式な子育て支援事業の一つとして、保育園で月に一、三回は「はなまるくらぶ」をやっている。母子一緒に二時間、歌や手遊びなどをする。次男は熱を出すことが多くてあまり行けなかったが、行った時は大喜びだった。ただし、この保育園がまた遠くてねー、駐車場から更に歩くのでしんどかった。

六、幼稚園
各幼稚園が、園児獲得のために月一回のお集まりをやっている。たいがい無料で、歌や簡単な工作があつて、といったもの。これだけでも二才児の母には気分転換になるかも。でも、一番嬉しかったのは末就園児のハズの二才児でも入れる幼稚園があることだ！園児のとりあいがきびしいイナカだからかもしれないが、働く母のためにも預かり保育や二才児保育があつてとても良いと思う。うちもアレルギーの心配さえなかったら、二才から入れていたと思う。公園へ行っても子どもは全然いないし、共稼ぎの多いここでは、保育園に入るか祖父父母がみるか、もしくは公園に出さないかしら方法がないので…

七、小学校
小学生がお知らせをもらってくる「教育相談」ヒミツは厳守します」ってやつがあるけれど、これは使ったことナシ。

八、病児の母として思うこと

岩国市の子育て支援は、基本的に「元気な子向き」。それに「入園まで」が中心。「ホントにヘトヘト、フラフラの病児の母」を支えるシステムは全くできていない。こんな状況でやっていこうとすれば、あとは行政スタッフ各人の裁量の大きさに期待するしかないのだが、行政の態度は「そういうケースは少ない」「よく分かる人がいない」（だったらもっと勉強しろっちゃん！）となるので、役に立たない。

近所で気の合う人と助け合うっていうのが、一番自分がラクになり楽しいな！、私の場合でも、引越した後イチから始めなくてはなりません。あーしんど。

小諸市の場合

長野県小諸市



一、「子育て支援課」

昨年、市役所の厚生課内に「子育て支援係」というのが初めて設置されました。その係を中心に保健施設などを利用して、末就園児とその母親を対象にした育児セミナーなどを定期的に開くようになったようです。

二、医療費

乳幼児の医療費無料化が近々四才から五才に引き上げられるようで、対象となる子を持つお母さんたちは喜んでいきます。

三、保育園

人口に対して施設数が多いのか、入園できずに待機などという例はありません。特に息

太田市の場合

群馬県太田市



子が通う園は市の中でも農村部にあるので、園児たちも先生もお母さん達も、みんなおおらか！園全体が仲間という感じで、本当に気に入っています。でも、同じ市内でも街部の園は園児数も多く、お母さん達の考え方も、様々で役員さんがご苦労されている…という話しも聞いたことがあります。

四、全体的に

市自体の雰囲気がかどうかというか、三世代の家庭が多いことなどもあり、地域全体で子どもを見守ってくれているというように感じます。若いお母さんたちには市に支援してもらいたいこともあるかと思いますが、現実には声をあげる…という例もあまりないようです。これは、今の子育て支援の状態にほぼ満足されているということなのでしょうか…。

島牧村の場合

北海道島牧郡



もったいないと思う人もいます。市の方も子どもは親がみるもので、そんなことまでして…といった感じなのです。これが地方（特に農村）の実態なのでしょうか？

私は東京で生まれ育ち、結婚してこちらに来て一時期千葉県の柏市に住んでいました。また、こちらに戻って来ました。都会のことを知っているので、余計不満を感じるのです。結婚して十二年、子育て歴十一年になり、こちらに落ち着いて六年半です。たぶんこのままこの土地に住むと思うので、なんとか動けることはしていき、自分のこのはがゆさを解消して行きたいです。

追伸・こういう企画、大歓迎です。できればそれぞれの地方の方といろいろ話したいです。そして、よいヒントが得られるといいな！！

月に二回、絵本の読み聞かせの会が育児サークルを開いています。現在私もその会に入っただけです。二ヶ月に一回ほど、隣町から遊びを教えられる先生が来てくれます。

その他は、村に公園もない、プールもない、とても不便な所です。虐待などないのかな？と思うほど、家にこもって子どもと二人でいる方が多いです。子育て環境が悪くて、おじいちゃん、おばあちゃんが近くにいない人は、何人も産めない状況だと思えます。

一子育てしてきた立場から

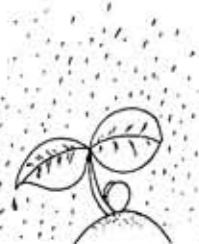
東京都府中市

かつて子育て中の母親たちにとっては公園デビューが心配の種でしたが、今は子育て中のお母さんに会いたいのに、子どもを他の子どもと遊ばせたいのに相手がいない…というのが、母親たちの悩みになってきました。だから、ちょっとした子育ての悩みを誰かに聞いてもらいたい、親子で遊びたいなどと思つた時は、自分から保健所主催の催しに参加したり、地域の子育て支援センターを訪ねたりしなければならなくなつたのです。

でも、国が少子化対策として子育て支援事業（最近では次世代育成と言らしい）に力を入れてくるとはいえ、できた子育て支援センターが遠かったり、利用できる年齢や条件が決まっていたりすると、利用できる人は行き場がなくなってしまう。

また、母親のサポートをするはずの一時保育担当者が、内心「今の母親は甘えている、子育ては自分でするものだ」などと思つていて冷たい態度に出してしまうなど、人材育成の点での問題点も多く指摘されています。

場所作りも一つの方法ではありますが、誰もが安心して子育てできるような、子どもを産み育てたいような、包容力のある地域社会作りの方が効果があると思うのですが…この不況では、地域にその余裕はない？



あんふぁんてから

あんふぁんてへ



地方から発信していきたい

鹿児島県島根郡

生まれ育った横浜を後にし、鹿児島に来て三年が過ぎました。娘が入学した小学校は私の望んでいたような小規模校で、全校生徒数が二十名。今年の新一年生は五名、二年生は娘と隣の家の女の子の二名の計七名の複式学級。こどもにとっては、とても素敵なおとこで、住んでいるところも、周りは田んぼと山と川。田舎暮らしを満喫して、充実した毎日を送っています。

しかし、これだけ、町から離れると、何時代の人間が生活しているのかと思うようなことが多々あります。町の中心にある小学校にさえ、学童保育がありませんでした。母子家庭である私は、去年、この山奥の小学校の隣に学童保育を作りました。働きながら運営に携

わるといふのは、きついものがあります。また、地域の方々の、子どもは自分で育てるもんだ、今の人たちは甘えすぎたという意見に、何度となくキレそうになりました。現在、ようやく学童保育も軌道に乗ったように見えてはいますが、子育てをしている同年代の方々の意識のギャップにも、驚かされます。情報が無い、情報を探そうとしない、また、そういうところに意識の無い方たちに、余計なお世話だと充分承知したうえで、この土地から情報発信していきたいと考えています。

やりたいことがいっぱいです

埼玉県飯能市

インターネットで、子育て支援を探していて、「あんふぁんて」をみつけました。地元で行うイベントのお知らせを、近くの会員二人にしました。一人からメールが来ました。会ってみたいと思っています。

会報などで取り上げたいと思うテーマは、「おしゃれ」。みんな、おしゃれ(服とか化粧品とか)に使うお金・時間はどうしているのだろうか? 私は、今まであまり気にしてなかったけど、これから少し気を使いたいと思います。

最近、息子(四才)の不登園をきっかけに、「自分の時間を生きていかなかった」ことに気づきました。これからは、地域で「預け合い」をひろめて、子育て支援センターを作っていただきたいなあと思います。



お花見に行ってきました

東京都府中市

三月末の「井の頭公園」でのお花見は、桜はまだ三分咲きくらいでしたが、雰囲気は充分。あちこちに敷かれている花見場所確保のブルーシートを避け、野外ステージ前のベンチを確保しました。参加者は大人五名、子ども三名、それにステージで大道芸を披露してくれる、ヘヴン・アーティストの神田さんでした。

神田さんの大道芸には、その場にいた若者や女性グループなども興味を示し、散歩中のお父さんたちなど、「がまの油売り」や「南京玉すだれ」に懐かしい表情を見せていました。特に、お客との「売った!」「買った!」と声を出しての掛け合いが売り物の「バナナのたき売」は、見物客とのナマのコミュニケーションが魅力で、一体感も感じられてなかなか面白かったです。



【リレーコラム】 あんふぁんてって何?

◆板橋区

私にとってあんふぁんては、子どもを通して色々な世界があるということを教えてくれた所です。

◆文京区

あんふぁんては、地域も年令も血縁も関係なく、自由に人と交わる場所。だと、私は思います。

◆文京区

あんふぁんてに入会して初めのうちは、送られてくる会報をばらばらと読むだけでしたが、そのうちに実際に集まりに足を運ぶようになりました。

年上の会員の方たちとの出会いが、楽しいです。普段の生活では子どもの年齢が近いお母さんたちと話す事が多いので、「ウチの子が小さかった頃にねえ」と、十ウチ年前の子育て中のこぼれ話など聞くと、なかなかこんな話を聞くチャンスは無いなあ、と思います。他では得がたい関係だと思っています。



三十周年記念イベント スタッフ募集中②!

みんなでイベントを成功させよう!

杉並区

あんふぁんてでは、過去に周年記念イベントやコンサート、映画会などを行っている。私が参加した二十年以上前のイベントでは、ワークショップ形式でみんなが輪になりグルグル周って自己紹介、他己紹介をしながら交流をはかり、初対面でもすこい親しく話ができ、よく笑った。

十周年+αイベントのときは、会員によるお芝居があり、若い二人が恋をし結婚をして、子どももできて楽しい我が家を築きながらも、夫は仕事だけ、妻は家事と子育てを一人で請け負う密室育児に、やがて妻は不満と社会からの疎外感に悩み、夫婦の危機が!離婚?! 芸達者なメンツの熱演にもう会場は大受けて、参加していても楽しかったな。今でも思い出すとワクワクした気分になれる。

今回の三十周年記念イベントは来年開催予定である。イベントに「参加して良かったな、楽しかったな!」と、誰もが心に感じてもらえるものになりたいと思う。どういうイベントを行うかは、これから、みんなで話し合っ決めてほしいと思うので、スタッフに名のりをあげてほしい。あんふぁんてのみんなでイベントを成功させよう!!

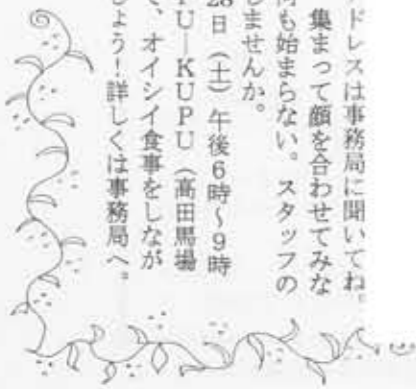
私は大雑把だけれどちょっとだけ案がある。あんふぁんてを結成した三十年前と現在の世の中の流れを比較して、どの程度「自分らしく生きたい」が実行できているのか総括してみたい。そして、「未来の世の中はどうなっているのか?」など、三世代の中はどうなっているのか? 男女たちをテーマに、様々な趣向を盛り込んでみたいと思っている。ちよつと固いかな。さあ、あなたはどんなイベントを考えている? みんなでワイワイとトークをして企画・実行を進めて行けたらと思う。

私は会員暦十七年。フルタイムで働き四人の子持ち、社会人は三人(まだ係なし)で、残るは高三受験生。なかなか集まるのが難しいけれど、大きな枠組みを決めたら担当分野に分かれて、それぞれ準備を進めたらどうだろうか。今、子育て真っ最中の若いママから、もう孫は? 人目よ! という人まで。また、住まいが離れた遠い方も手紙や電話・FAXやEメール送信などで意見交換はできるので、参加してほしい。

★スタッフへの名のりは、事務局または福野

Eメールアドレスは事務局に聞いてね。★とにかく、集まって顔を合わせてみないことには何も始まらない。スタッフの顔合わせをしませんか。

日時・6月28日(土)午後6時~9時 場所・KUPU-KUPU(高田馬場徒歩5分)で、オイシイ食事をしながら相談しましょう! 詳しくは事務局へ。



情報コーナー

事務局から

★あんふぁんて・ティープレイク
日時・6月18日(水) 10時半〜4時半
場所・

あんふぁんて三十周年を前に、今までのあんふぁんての会の歩みや周年行事の様子をビデオなどで振り返りながら、企画を考へたりおしゃべりしたりしませんか？

特に、夜の会合に出にくい子連れ会員歓迎。都電に乗って来ませんか？天気がよければ、鬼子母神の境内で、江戸時代から続く駄菓子屋の前に、400年前にタイム・スリップした気分遊びましょう。連絡は事務局まで

★平日あんふぁんて in 荒川自然公園
日時・7月23日(水) 11時〜3時半
場所・荒川自然公園(都電荒川二丁目下車) 集合場所・都電を降りてすぐのスロープを登ったところにある、公園入口。
小さい子向けの乗り物のある交通公園や、アスレチック、水遊び池などがあるので、梅雨明けの青空の下、遊びませんか？周囲にお店がないので、弁当・水筒・着替え持参。申込みは7月21日(月)までに事務局へ。

●あんふぁんては1975年3月発足なので、もう29年目に突入です。有志による30周年行事の相談も本格化してきましたが、いろいろな意味で会のあり方を考え直す時期にきたと思います。8月末の会員交流会までに、一人一人今後のことを考えて、具体的な提案があったら寄せてください。

ハスケジュールメモ

6月18日(水)ティープレイク(井上宅)
6月28日(土)30周年イベント相談会
(高田馬場 KURU-KURU)
7月7日(月)7月号発送作業(事務局)
子連れ可、弁当持参、10時〜2時
7月23日(水)平日あんふぁんて(荒川)
参加者は事前に事務局まで連絡を。

●あんふぁんては、会費のみで運営している会。会費の支払いがまだの人は、至急振り込みをお願いします。会費が切れても本人から連絡がないと、退会等の措置がとれません。休・退会や転居の時は、事務局まで連絡を。

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

事務局までの地図

第289号 (毎月1回5日発行)
2003年6月5日発行
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 6月号

発行人 / _____
発行所 / あんふぁんて出版部

電話 _____
(☎平日12時〜2時 それ以外FAX)

定価 / 500円
振替口座 / _____
加入者名 / あんふぁんての会

☆当会について詳細を知りたい場合、封書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分(なるべく少額切手)を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分(三千円)以上まとめて、郵便局の振替口座に払い込んで下さい。

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。